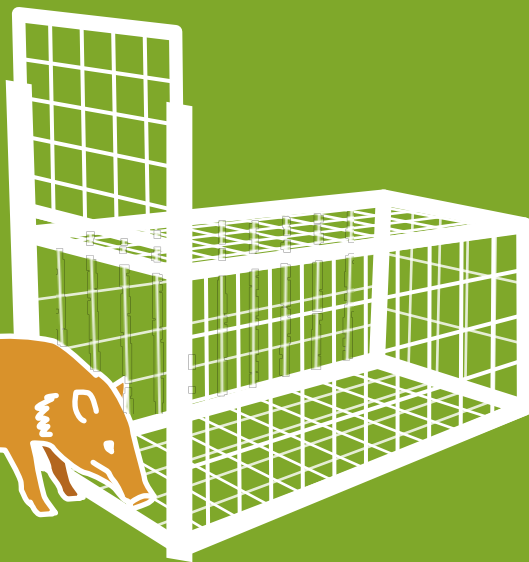
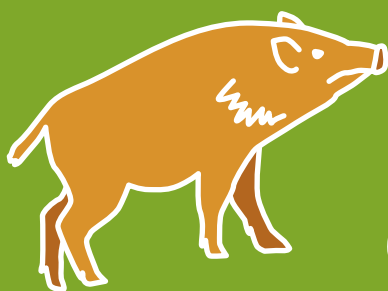
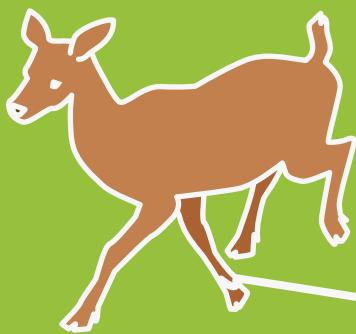


岡山県

イノシシ・シカ 捕獲マニュアル



岡山県

プログラムの目的

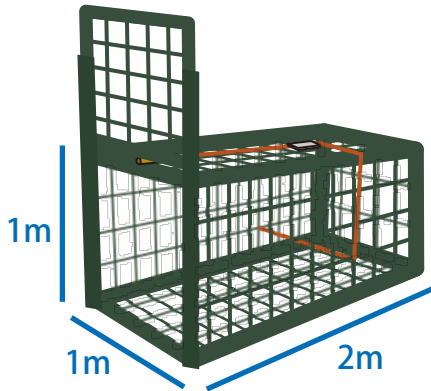
- 岡山県では、イノシシとニホンジカによる農林業被害等の軽減や認定鳥獣捕獲等事業者など鳥獣捕獲等事業の担い手となる人材の育成に取り組んでいます。
このマニュアルは、イノシシとニホンジカのわなによる捕獲技術を向上させることを目的に作成しました。
- 野生動物の捕獲には許可等が必要です。
このマニュアルは、法令に基づいた捕獲許可等を受けた方を対象に作成しています。
法令やマナーを守って、安全に捕獲を行ってください。
- わなの特徴をよく知り、環境や状況にあったわなを効果的に配置しましょう。

目次

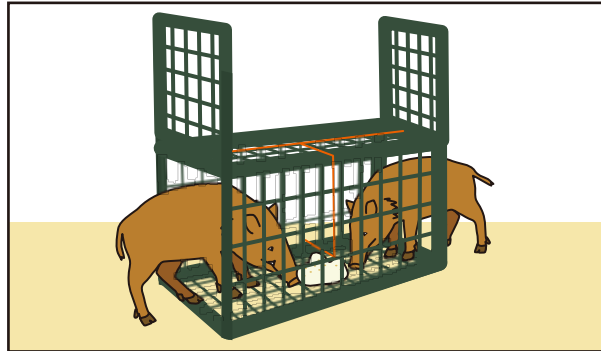
■プログラムの目的	1p
■わなの選び方	2～3p
■くくりわなによる捕獲	
捕獲手順	4p
1. 場所選び	5～7p
2. わなの設置	8～9p
3. 見回り	10p
4. 止めさし	11～13p
■はこ・囲いわなによる捕獲	
捕獲手順	14p
1. 場所選び	15p
2. 事前の餌付け	16p
3. わなの設置	17p
4. エサによる誘引	18～19p
5. 捕獲開始	20p
6. 止めさし	21p
7. 捕獲の継続／わなの移設	22p
■資料	
管理チェックリスト	23～25p

わなの選び方

はこわな（例）

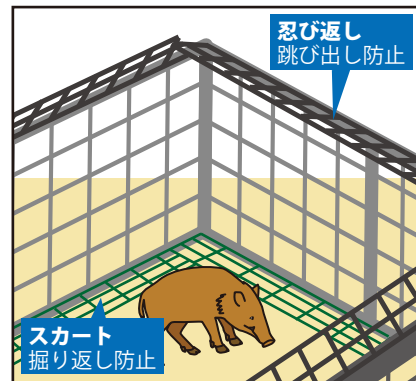
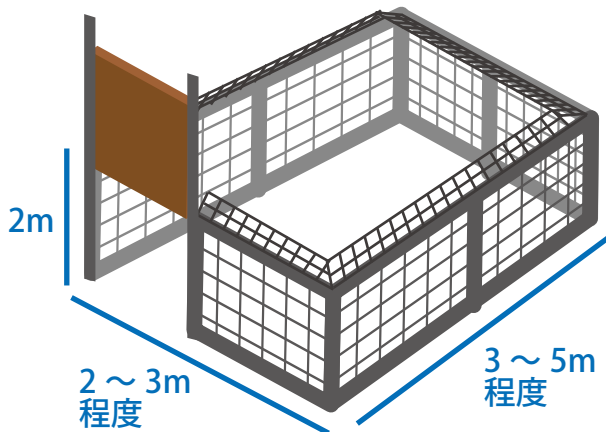


両扉式わなの課題



わなの奥行きが短いと、捕獲のタイミングが遅れたり、逃走される恐れがあります。

囲いわな（例）



捕獲した獲物を逃がさない構造のわなを使いましょう。

格子の目合い	10cm×10cm 以下
鉄筋の太さ	Φ6mm 以上
逃走防止用のストッパー※	必須

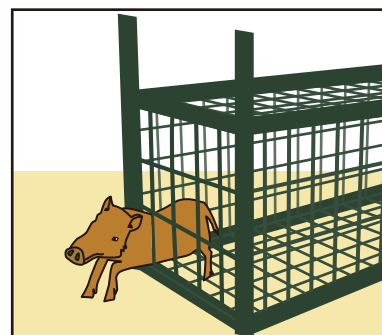
※捕獲した獲物に、わなの中から扉を開けられないようにするための機構です。

安全に作業できるわなを使いましょう。

誤作動防止用の安全装置※ 必須

※餌付け作業中に扉が閉まらぬようにするための機構です。

縦格子わなの課題



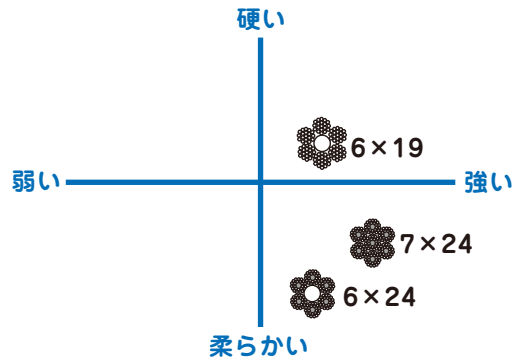
横の鉄筋が少ないと格子の幅が狭くても、若い個体が隙間から抜け出ることがあります。

くくりわな

ワイヤーの選び方

柔らかさと強度を基準に、使いやすいワイヤーを選びましょう。

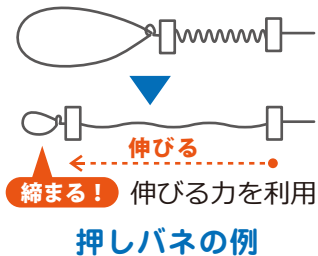
- ワイヤーの太さが同じなら、
- 素線が多い方が柔らかくなり、
 - 芯綱が鉄の方が強度が増します。



※ワイヤー部は消耗品です。一度獲物を捕獲したワイヤーの再利用は、事故につながる恐れがあるので、絶対にやめましょう。

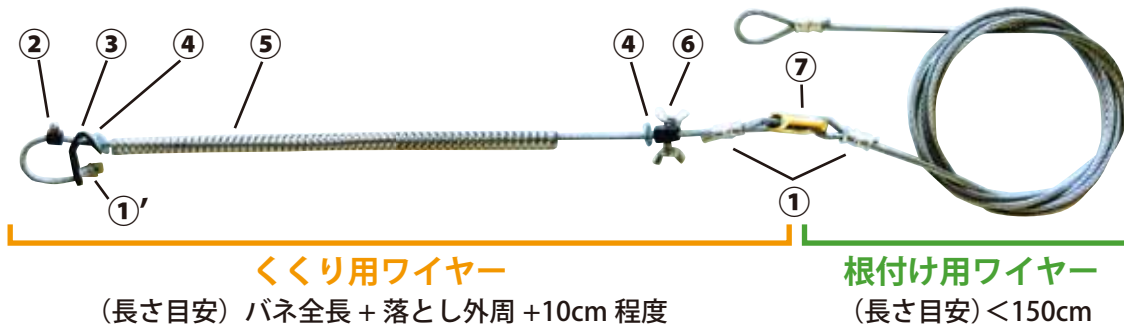
バネの選び方

強度を基準に、使いやすいバネを選びましょう。バネが弱いと、獲物に逃げられますが、強すぎるとセッティングが大変です。



ワイヤー部分の構成と仕様（例）：押しバネタイプ

(わなの構成は、人によって異なります。経験を積んで使いやすい仕様を完成させましょう。)



- ① スリーブ (①' は半分の長さ)
- ② 締め付け防止金具
(親指 1 本分の隙間が残るように設定)
- ③ くくり金具
(絞られたワイヤーが緩むのを防止する金具)
- ④ ワッシャー
- ⑤ バネ
- ⑥ ワイヤー止め
- ⑦ より戻し

アームスエージャー

ワイヤーの切断やスリーブの圧着に必要です。



押しバネ



- バネをパイプで保護すると
- セッティングが簡単になります。
 - 捕獲後のバネの傷みを軽減できます。



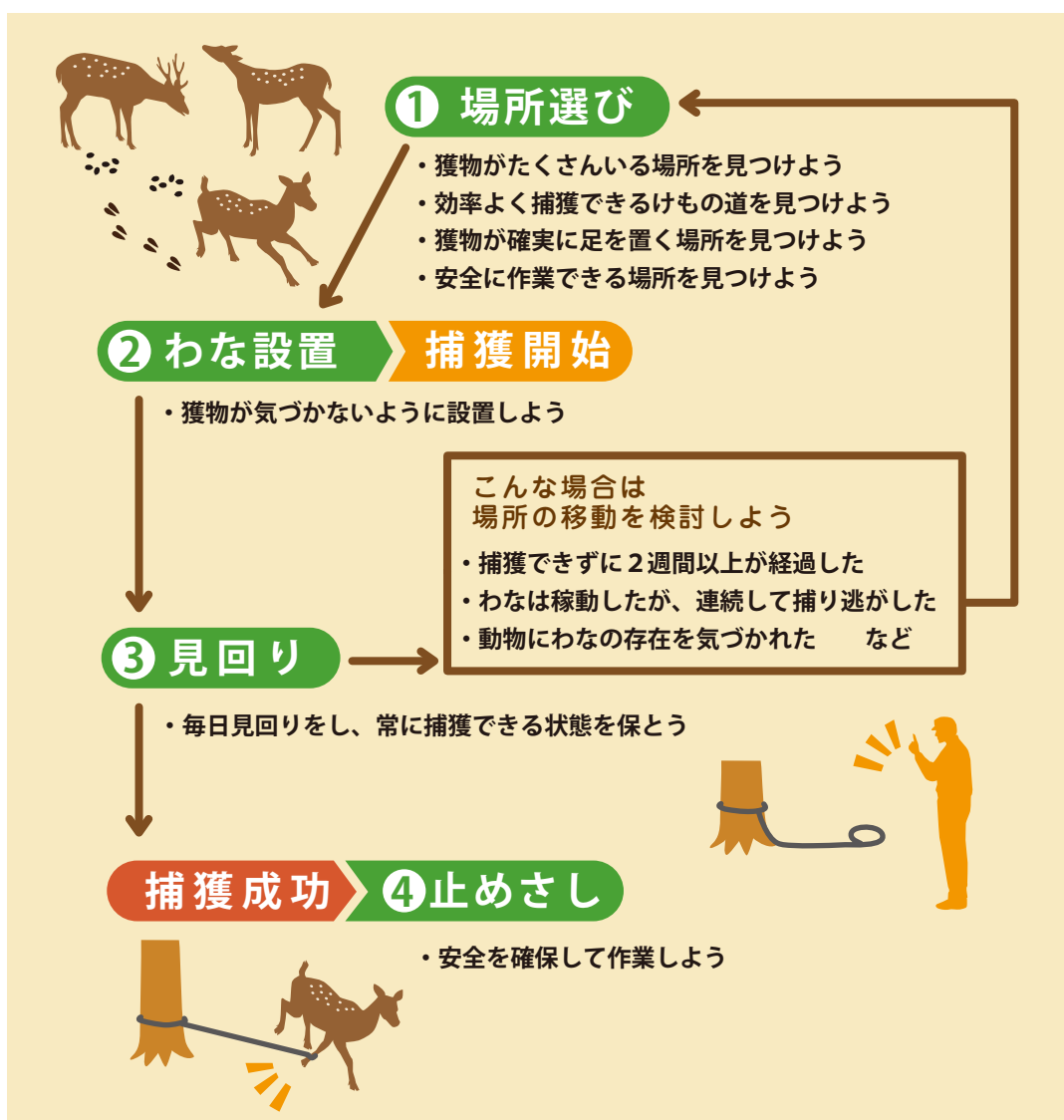
※ワイヤーやバネ、各パーツ類や工具は、くくりわなメーカーの通販などでも購入できます。

くくりわなによる捕獲

捕獲を成功させるためのポイント

- 獲物が頻繁に利用するけもの道を選びましょう。
- そこしか踏めない場所を選びましょう。
- わなやワイヤーは見えないように、きちんと埋め隠しましょう。
- わなに全体重をかけさせるよう、わなの上にかけた土を固めましょう。
- 絶対折れない根付けを選びましょう。
- 毎日の見回りで獲物の足の運びを学びましょう。

くくりわなによる捕獲手順



1. 場所選び

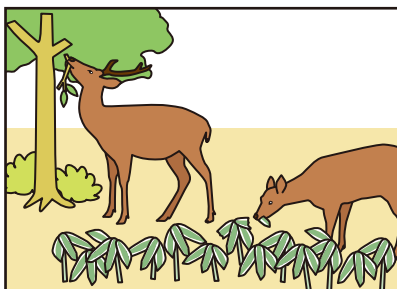
① 捕獲するエリアを決める

獲物が頻繁に利用する「^{かよ}通り※」を見つけましょう。

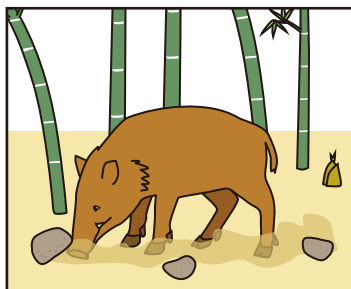
※獲物が工サ場やねぐらへ移動するとき、いつも通る道のことです。

(ア) 獲物の出没状況を把握する

■被害や目撃情報を集めて、最新の獲物の出没状況を調べましょう。



シカによる食害



イノシシによる掘り起こし

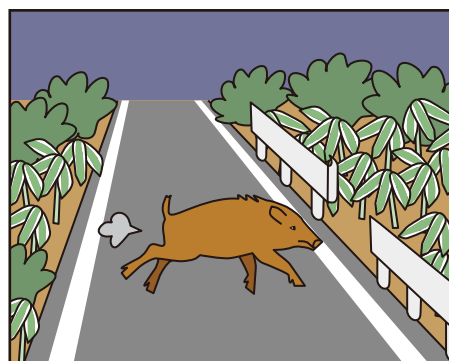
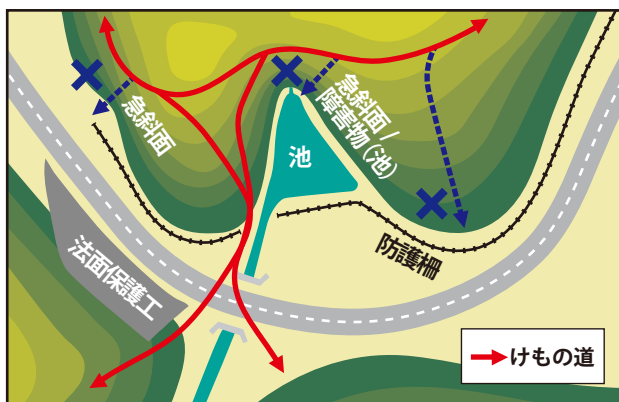


夜間の生息状況調査

(イ) 地形的条件から絞り込む

■ 出没場所周辺で、獲物が確実に通る「^{かよ}通り」を探しましょう。

獲物にとって危険の多い車道や林道を横切る場所は、どうしても通る必要のある重要な移動ルートである可能性が大了。



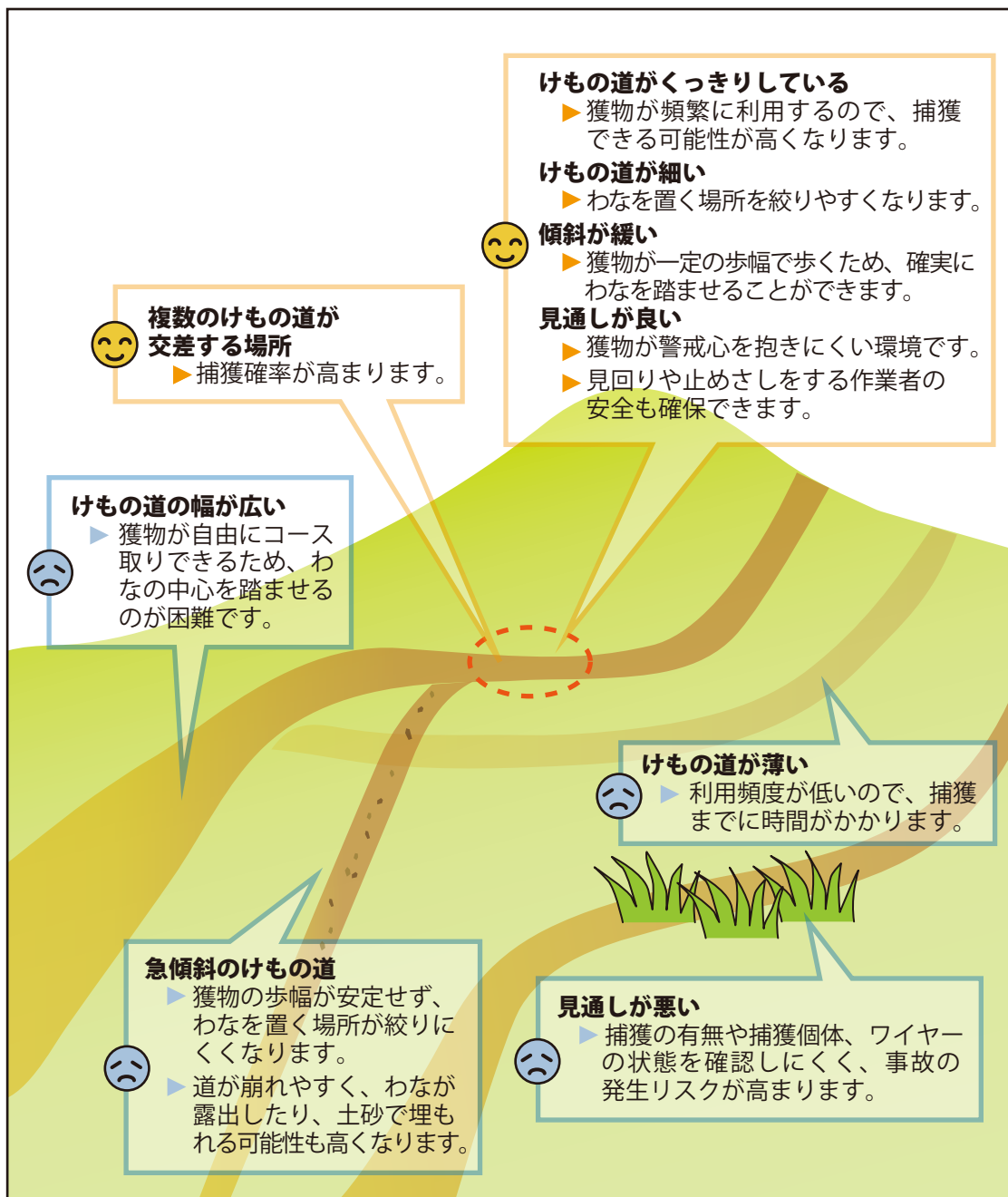
車道を横切るイノシシ

動物は、できるだけ簡単に往来できるルートを利用する傾向があります。

※候補地を見つけたら、土地所有者を調べて、わな設置の許可を得ましょう。

② 捕獲に適したけもの道を絞り込む

効率よく捕獲できるけもの道を見つけましょう。



【その他の選定ポイント】

- イノシシによる掘り起こし痕がある場所（イノシシのエサ場）**
▶ わなが掘り起こされたり、鼻をくくってしまう恐れがあり、危険です。
- 水はけが悪い**
▶ わなが露出しやすく、誤作動の原因にもなります。
- 木の根や石ころが多い**
▶ 穴を掘りにくかったり、誤作動の原因になります。

③ わなの設置場所を絞り込む

確実かつ安全に獲物を捕獲できる場所を見つけましょう。

(ア) 獲物が確実に足を置く場所を探す

■ けもの道に残った足跡を探しましょう。



シカやイノシシは、露出した木の根や石、倒木を避けて歩く習性があります。障害物の近くにある深く踏み込んだ足跡を探して、そこが中心になるようにわなを設置しましょう。

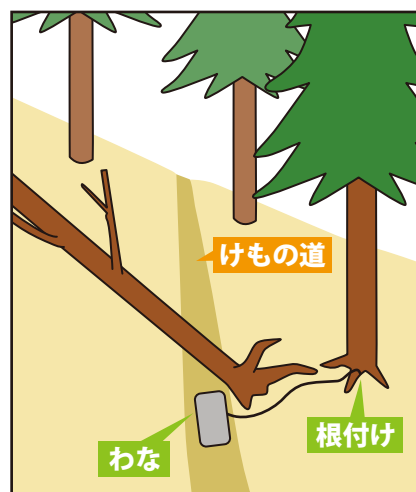


イノシシの泥すり痕の真下は、避けましょう。足を置く場所が安定しないため、誤作動を起こしやすい環境です。



(イ) ワイヤーの届く範囲に安全な根付けを探す

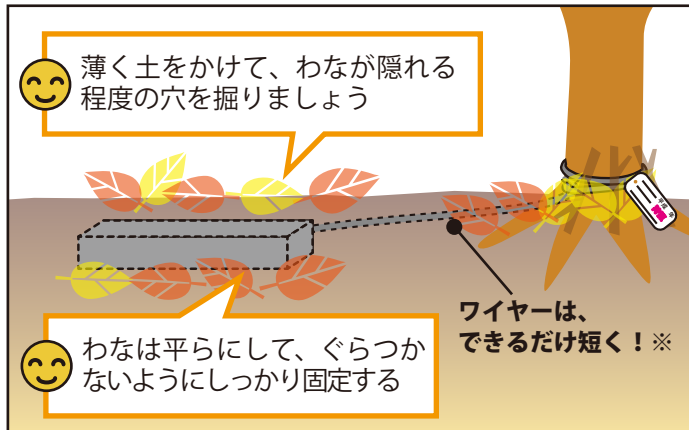
- ・ 根付けには、十分な太さの生きた木の根や幹を選ぶ。
- ・ 原則として、根付けはわなを設置するけもの道より下側にとる。
→ 捕獲時に、けもの道を崩さずに残せる可能性が高まります。



2. わなの設置

① わなやワイヤーを完全に埋め隠す

獲物に見えないようにわなを設置しましょう。

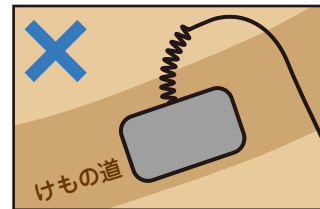


※ワイヤーが長いと捕獲した獲物が動ける範囲が広くなり、事故や逃亡のリスクが高まります。

😊 けもの道と平行に

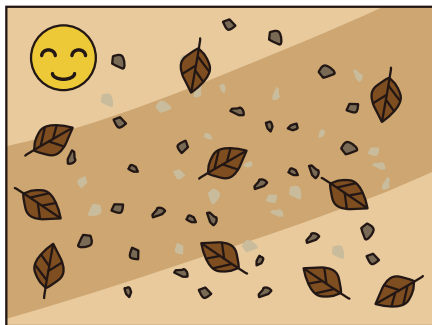


😞 ワイヤーやバネがけもの道にかからないように



覆いの種類を工夫しましょう。
乾いた土や砂、細かい落ち葉などが適しています。

良い例



悪い例



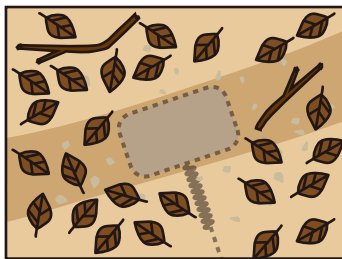
石や湿った土、大きな葉や茎、ひげ根などをのせると、誤作動や捕り逃がしの原因になります。

② けもの道を復元する

違和感がなくなるように、前後の環境になじませましょう。



※地面の硬さも重要です。表面の土を固めて、獲物にしっかりと踏み込ませることで捕獲の成功率は高まります。



☹️ 落ち葉が多く、元通りに復元するのが難しい場合



😊 わなの前後の落ち葉を軽く取り除いて、環境を揃えましょう

③ 障害物を利用して、足を置く場所を誘導する

痕跡を観察して、障害物の置き方を工夫しましょう。

- 「またぎ棒」や「寄せ木」などを効果的に使うことで、捕獲の確実性を高めることができます。
- 歩幅や障害物への反応を観察して、自分流の誘導法を開発しましょう。



3. 見回り

毎日見回りをして、常に捕獲できる状態を保ちましょう。

① けもの道に残った足跡を調べ、行動を学ぶ

獲物の歩幅や肩幅、歩き方、障害物への反応を調べましょう。

② 誤作動したり、露出したわなを埋め戻す

原因を究明して、改善しましょう。

誤作動や露出の原因と改善例

- ・獲物にわなの隅を踏まれた
→足跡に合わせて、わなの位置をずらす。



- ・草や葉がワイヤーに絡んだ
- ・踏まれたのに動かなかった
→覆いの種類を変える。
→設置環境を見直す。



- ・動物に掘り返された
→餌付けをしている場合は、工サの設置を中断する。
→繰り返されるなら移設を検討する。



※明らかに獲物に回避されたような痕跡を確認したり、長期間反応がないわなは、移設を検討しましょう。

コラム 安全管理について

捕まった獲物は、人が近づくまで息をひそめて隠れていることがあります。見回りの際には、離れた場所からわなの状態を確認する習慣を身につけましょう。

☹️ 不用意に近づくと危険！



4. 止めさし

作業者や周りの人の安全を確保して作業しましょう。

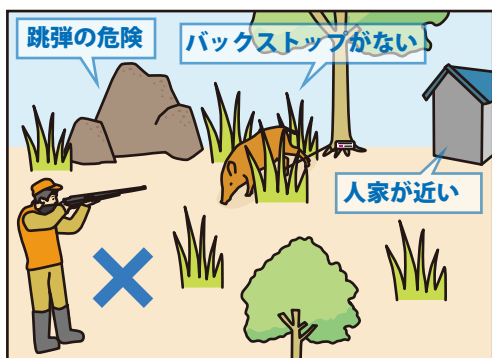
① 銃器を用いて止めさしをする

周囲の安全を十分に確認してから発砲しましょう。

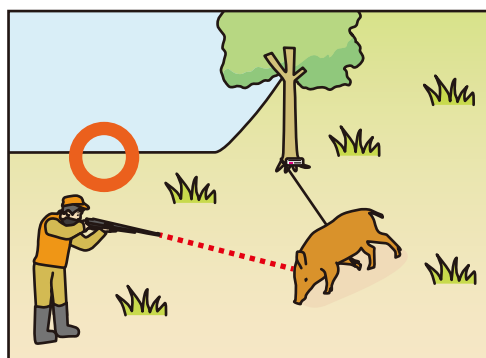
最初に確認する項目

- ・銃器の使用が許可されている地域か
- ・周囲の安全は確保できているか（視野の確保）
- ・使用する銃器の威力は適切か（射程距離）
- ・バックストップは確保できているか
- ・跳弾の恐れはないか

☹️ 銃器の使用に適していない環境

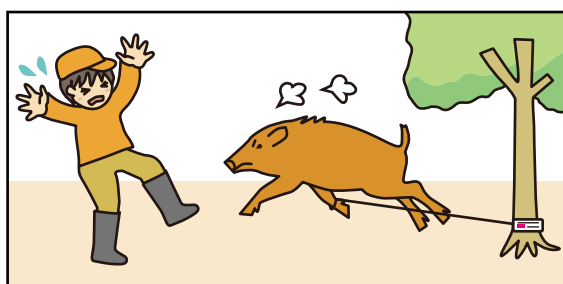


😊 銃器の使用に適した環境



発砲前に確認する項目

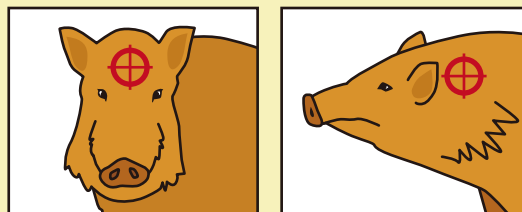
- ・獲物が興奮して暴れていないか
- ・誤射や暴発の恐れはないか
- ・矢先や跳弾の届く範囲に人はいないか



捕獲個体が落ち着くまで待ってから処置しましょう

コラム 狙撃ポイントについて

シカやイノシシを即倒させるためには、眉間や耳の後ろを狙い、銃弾を脳に直接打ち込む必要があります。



② 銃器以外による方法で止めさしをする

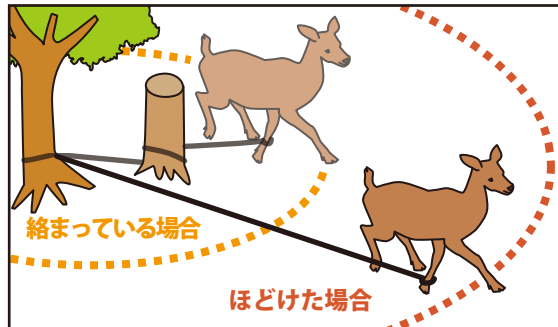
捕獲した獲物をしっかりと保定してから作業しましょう。

離れた場所から確認する項目

ワイヤーや獲物の足の状態



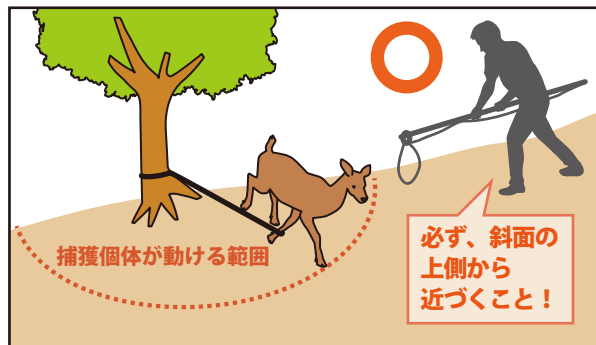
獲物の可動範囲



※根付けした木や根が折れそうでないかも、必ず確認しましょう。

捕獲個体に近づく際に注意する項目

- ・不安定な足場で作業しないこと
- ・捕獲個体から目を離さないこと
- ・銃器が使えない場合、保定具を用いて獲物の動きを完全に止めてから処置して下さい。



保定具と使い方について



3点で保定されたイノシシ



① チョン掛け

足をくくっているワイヤーに引っかけて、動きを制限します。



② 鼻くくり

獲物の鼻や角に引っかけて、作業者の安全を確保します。



③ 足錠

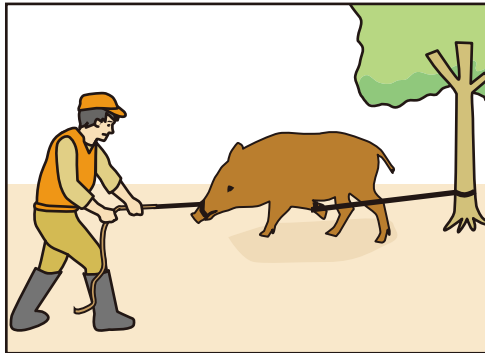
くくられていない足にひっかけることで、動きを完全に止めます。

※それぞれの保定具は、長い棒の先につけて使用します。

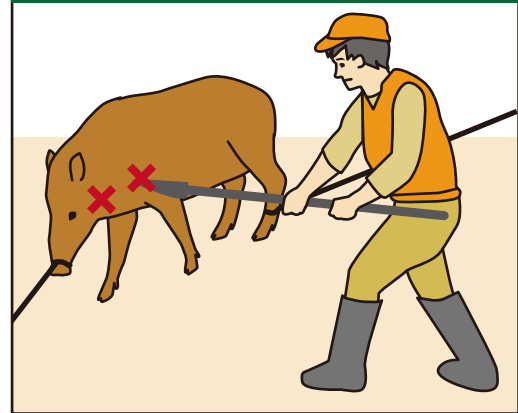
※ロープを引く際には、太い木にロープを一周巻きつけて引くと安全です。

※保定具は、くくりわなメーカーの通販などでも購入できます。

保定後の止めさしについて



刃物による止めさし



よく研いだ刃物を使いましょう。

ハンマーによる頭部殴打

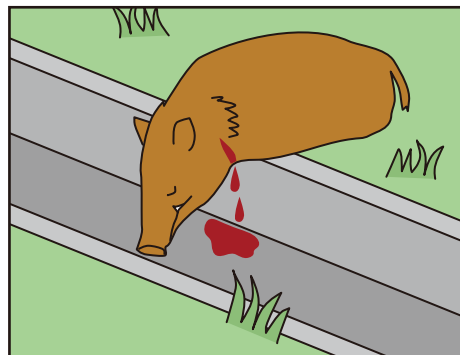


鼻面を横から叩くのも効果的です。

電気による止めさし



電流が心臓を経由するように刺します。



※頭を下にすると、血が出やすくなります。

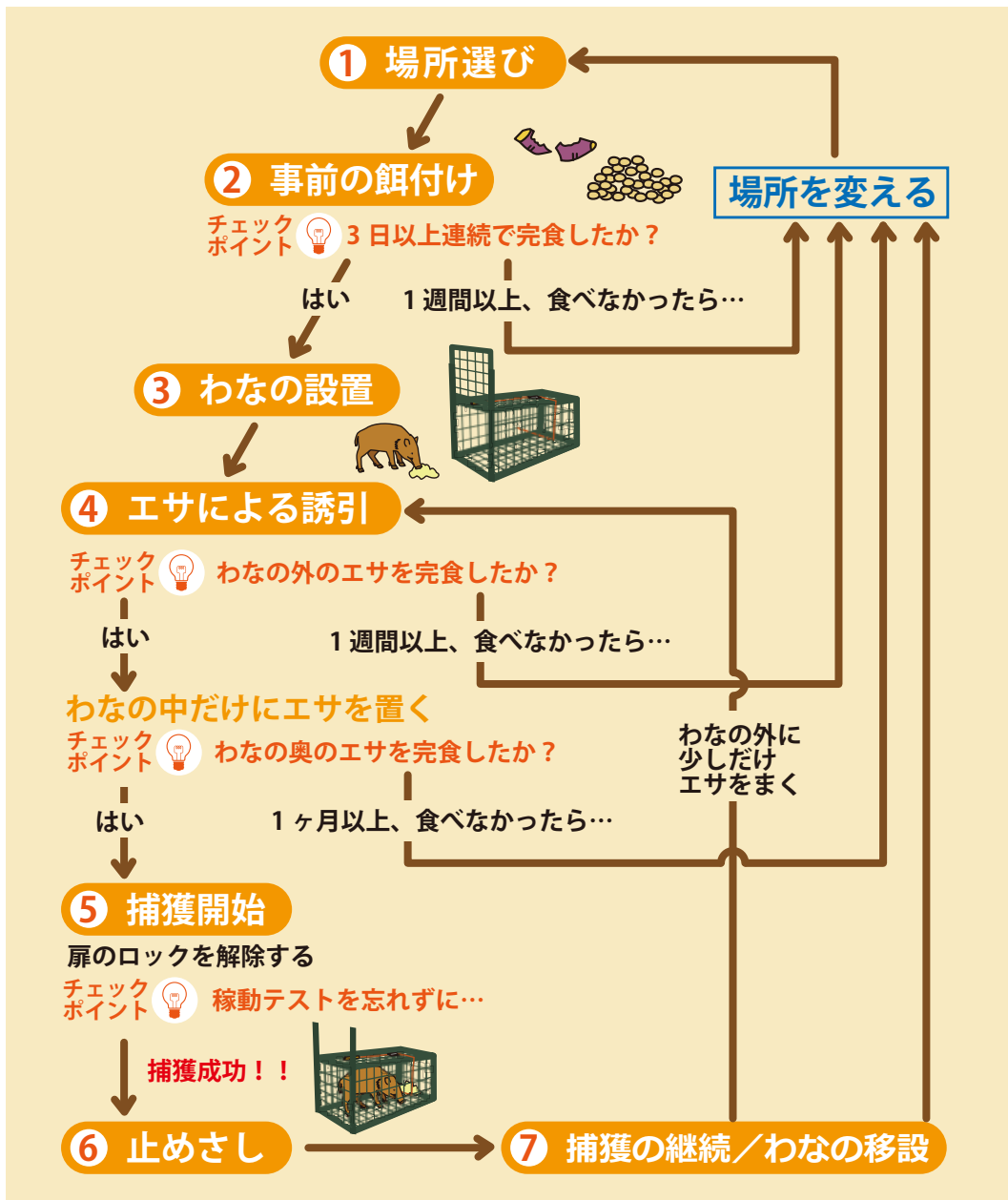
※心臓を踏んでマッサージすることで、放血を促すことができます。

はこ・囲いわなによる捕獲

捕獲を成功させるためのポイント

- 獲物がたくさんいる場所を選びましょう。
- 獲物が警戒なくエサを食べる場所を選びましょう。
- 一番よく食べるエサを選びましょう。
- 継続的な餌付けにより、わなをエサ場と認識させましょう。
- 小動物の進入でわなが動かないように、仕掛けの高さを工夫しましょう。
- 捕れなくなったら、わなを移動しましょう。

はこ・囲いわなによる捕獲手順



1. 場所選び

① 捕獲するエリアを決める→P.5 参照

獲物が頻繁に利用する「^{かよ}通い」を見つけましょう。

(ア) 獲物の出没状況を把握する

- 被害や目撃情報を集めて、最新の獲物の出没状況を調べましょう。

(イ) 地形的条件から絞り込む

- 出没場所周辺で、獲物が確実に通る「^{かよ}通い」を探しましょう。

② わなの設置場所を絞り込む

わなを運搬、設置しやすい場所を見つけましょう。



シカの捕獲に適した環境



山裾のひらけた場所



イノシシの捕獲に適した環境



下草が少ない見通しの良い林内

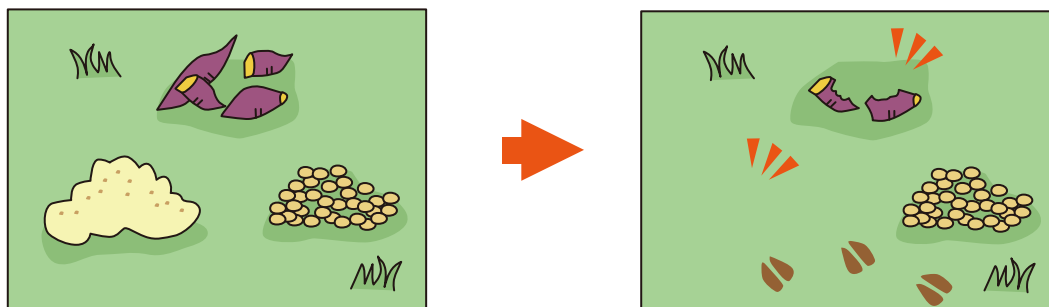
※候補地を見つけたら、土地所有者を調べて、わな設置の許可を得ましょう。

2. 事前の餌付け

その場所でエサを食べることを覚えさせましょう。

① 獲物のエサの好みを調べる

- エサの好みは、地域や季節、個体によって異なります。
- 何種類かのエサを少しずつまいて、好みのエサを調べましょう。



よく使われるエサの種類



シカ

- ・米ぬか
- ・くず米
- ・ヘイキューブ
- ・野菜類
(キャベツ、トマト、カブ、ほうれん草など)
- ・岩塩、鉱塩など
- ・乾燥牧草



イノシシ

- ・米ぬか
- ・くず米
- ・配合飼料 (乾燥トウモロコシを含む)
- ・イモ類
- ・マメ類
- ・その他の野菜類
(カボチャ、カキ、スイカ、リンゴ、ミカンなど)
- ・酒かす

【エサ選定のポイント】

- 誘引力が強いもの
- 安く (タダで) 手に入るもの
- 扱いやすいもの (腐りにくい、入手しやすい、保管しやすい)

② 獲物にエサの場所を覚えさせる

- 3日以上、連続してエサが完食されるまで続けます。
- 1週間たってもエサが完食されない場合は、エサの種類や餌付け場所の変更を検討しましょう。
- 毎日、食べられたエサの量や足跡を確認し、新鮮なエサを追加しましょう。

3. わなの設置

獲物が入りやすいようにわなを置きましょう。

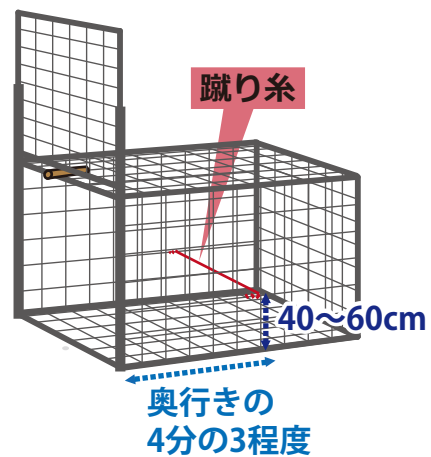
獲物を警戒させないようにわなを設置する

- 蹴り糸もセットし、捕獲実行まで、同じ環境に慣れさせましょう。
- 蹴り糸の高さは、狙う獲物の体高に合わせて設定します。



シカやイノシシの成獣を狙う場合は、40～60cmの高さに張りましょう。

蹴り糸の存在に慣れさせることが重要です。餌付け期間中は、蹴り糸に触れても扉が動かないように、扉はロックしておきましょう。



コラム 捕獲を開始するタイミング

警戒心の低い幼獣は、すぐにわなに入ってエサを食べるようになりますが、成獣がわなに入るまでには時間がかかります。

十分に餌付く前に扉を落としてしまうと、成獣を捕獲することは難しくなります。



4. エサによる誘引

わなを安全なエサ場と認識させましょう。

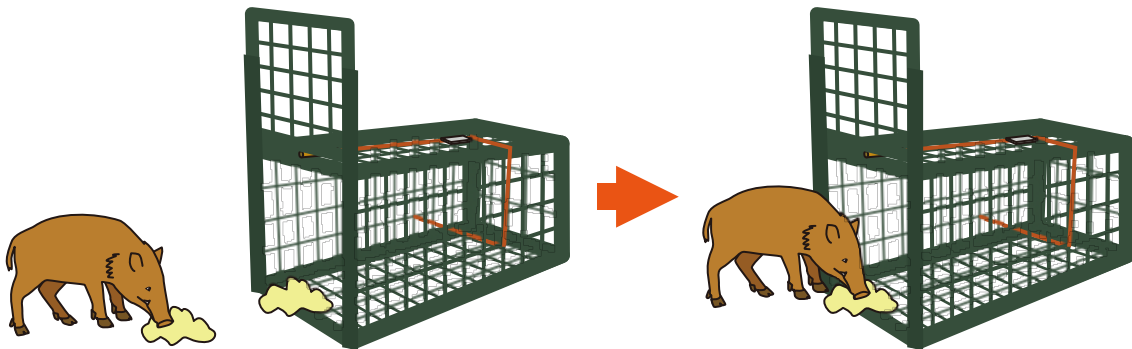
餌付けを続けて、獲物をわなへと誘い込む

※扉のロックを外すのは、餌付けが済んでから！！

- 毎日餌付けをして、エサ場に執着させましょう。
- 徐々にわなの奥へと誘導する餌付けをしましょう。

(ア) 獲物をわなへと近づける

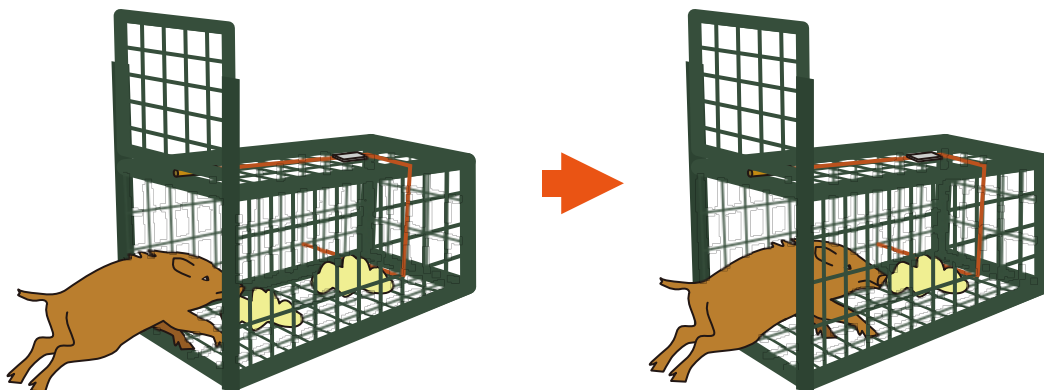
- ・ わなの入り口付近にエサをまき、わなの存在に慣れさせます。
- ・ 扉の真下に置いたエサを、毎日食べるようになるまで続けます。



※エサのまき過ぎには注意しましょう。
毎日完食される程度の量をまくのが基本です。

(イ) 獲物をわなの中まで誘い込む

- ・ わなの外や扉の真下にエサをまくことをやめ、わなの中だけにエサをまきます。
- ・ エサの位置は、食べられ方を見ながら、徐々に奥へとずらしていきます。
- ・ 蹴り糸の手前に置いたエサを、毎日食べるようになるまで続けます。



(ウ) 獲物をわなの奥まで誘い込む

- ・ 蹴り糸の手前にエサをまくことをやめ、わなの奥だけにエサをまきます。
- ・ わなの奥のエサが毎日完食され、蹴り糸が落とされるようになるまで続けます。

※1ヶ月経ってもわなの奥に入らない場合は、わなの移動を検討しましょう。



コラム エサのまき方の注意点 Q&A

Q: 「なかなか、わなの中に入らないんだけど…」

Q: 「蹴り糸の手前のエサは食べるけど、奥のエサを食べないんだけど…」

A: わなの外や蹴り糸の手前のエサを置き続けていませんか？

手前でエサを食べられるうちは、先へは進みません。

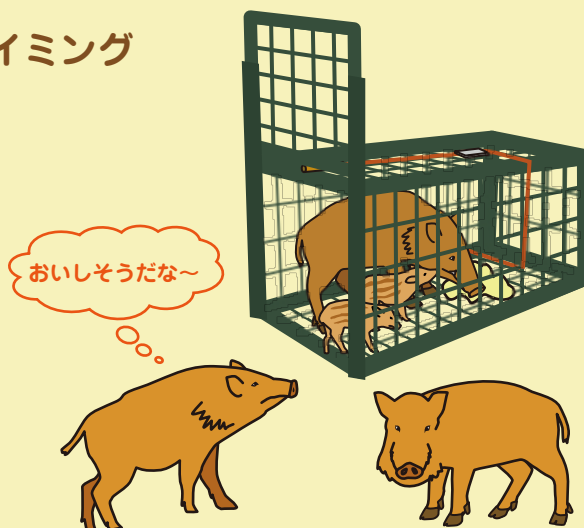
わなの奥に入らないとエサにありつけないと教えることが重要です。

※獲物がわなに入ようになった後で、わなの外にエサをまくと、再びわなに入らなくなってしまうことがあるので注意が必要です！
(古くなったエサを外にまき捨てるのも同じ効果があります。)

コラム 捕獲を開始するタイミング

シカやイノシシの群れには、複数の成獣がいることがあります。

すべての成獣がわなの奥でエサを食べることを覚えれば、同じ場所で連続して捕獲できる可能性が高まります。



5. 捕獲開始

餌付けた獲物を確実に捕獲しましょう。

わなを捕獲できる状態にセットする

- 扉のロックを解除し、スムーズに扉が落ちることを確認します。
※サビなどで動きが悪いときは、潤滑油を塗布しましょう。
- 獲物の動きに合わせて、正常にわなが作動するか、各部の稼動状況を確認する。
- わなの奥だけにエサを追加して、捕獲を開始する。

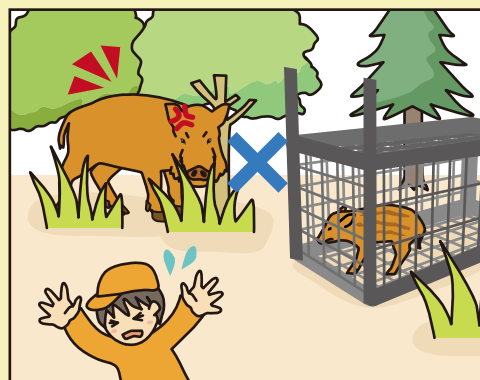
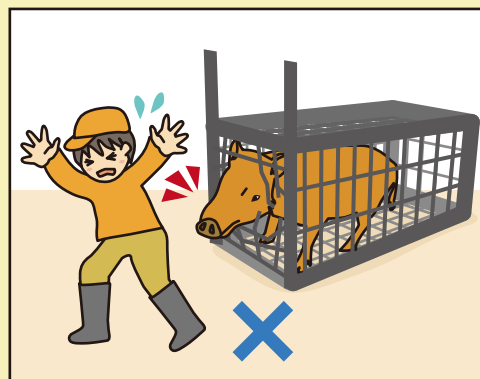
コラム 安全管理について

はこわなや困いわなでも油断は禁物です。
離れた場所から確認して、捕獲されていたら、以下のことを確認しましょう。

- ・獲物がわなから出そうでないか
- ・わなが壊れたり、ストッパーが外れていないか
- ・捕獲した獲物がひどく興奮していないか
- ・わなの周囲に他の個体がないか



扉が落ちきらず、ストッパーが掛からなかったわな



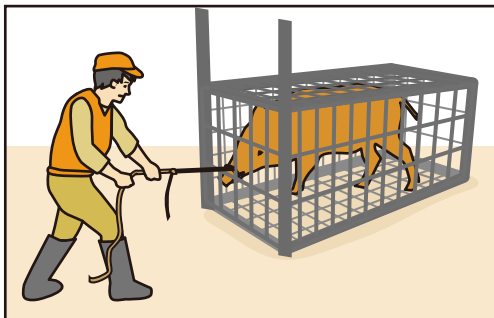
6. 止めさし

作業員や周りの人の安全を確保して作業しましょう。

銃器以外の方法で止めさしをする

※跳弾の恐れがあるため、はこわなや罠いわなでは銃器によるとめ刺しは推奨できません。

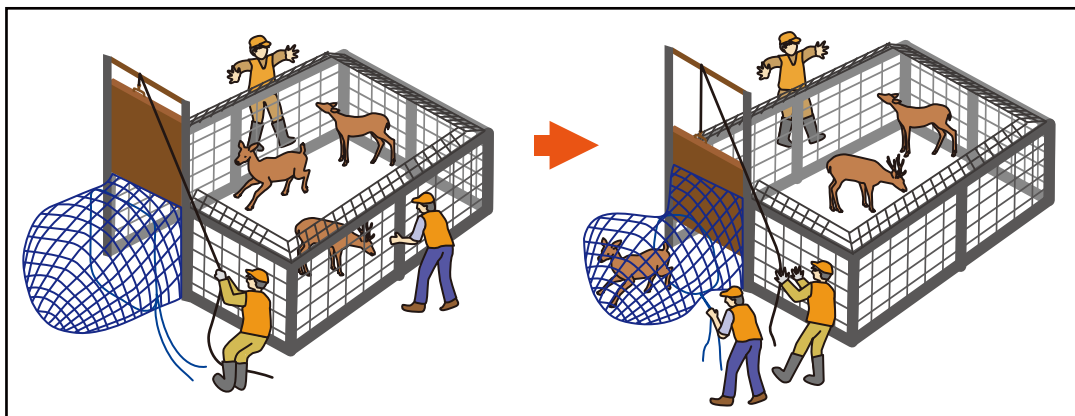
- 安全に作業できるよう、しっかりと獲物を保定しましょう。



鼻くくりで動きを止める方法



挿し木で動けるスペースを狭めていく方法



ポケットネットに呼び込んで保定する方法

- 保定した獲物を確実に殺処分しましょう。
→殺処分の方法は、P.13 をご参照ください。

【電気による止めさし】

金属製のわなでは、わなをアースして、捕獲個体の上半身に電極針を刺すことで、殺処分することができます。



7. 捕獲の継続／わなの移設

効率よく捕獲を続けましょう。

捕獲可能な獲物が残っていないか確認する

- 捕獲後は、わなの奥と入口付近に少量のエサをまきます。
- エサの食べ方を見て、その場所で捕獲を続けるか、わなを移動させるか判断します。

【わなの奥のエサがすぐに完食されたら】

「5. 捕獲開始」へ…(P.20)

【わなの入口のエサだけが完食されたら】

「4. エサによる誘引－(イ) または (ウ)」へ…(P.18～19)

【3日間たってもエサが食べられなかったら】

「1. 場所選び」へ…(P.15)

資料編

岡山県では、鳥獣捕獲等事業の担い手となる人材の育成を目的に、一定の技術と経験をもつ指導員を配置し、初心者等がわなを設置している現地まで出向き、個別に何回も分かりやすい指導を行う「鳥獣捕獲現地指導支援事業」を実施しています。

この管理チェックリストは、現地指導員が指導する項目をまとめたものです。このチェックリストを使用して、ご自身の設置されているわなを、ぜひ確認してみてください。

くくりわな 管理チェックリスト (初期確認用)

記入日： / / わな設置日： / /

わな管理者名： わな番号：

	チェック項目	状況	コメント
【設置直後に確認する項目】			
1	わなは、細くて利用頻度の高いけもの道に設置している	はい・いいえ	
2	獲物の足の踏み場所を予想して、わなを設置している	はい・いいえ	
3	わなは、平坦なけもの道に設置している	はい・いいえ	
4	根付けのとり方は適切である	はい・いいえ	
5	わなやワイヤーは、見えないように隠してある	はい・いいえ	
6	けもの道や周囲の環境は、違和感なく復元されている	はい・いいえ	
7	ワイヤーやバネは、けもの道にかかっていない	はい・いいえ	
8	わなの覆いは適切である（わなの動きを妨げる大きな葉や枝、石が乗っていない）	はい・いいえ	
9	わなは、見通しの良い場所に設置してある	はい・いいえ	
10	標識はしっかり固定されている	はい・いいえ	
特記事項			

くくりわな 管理チェックリスト

記入日： / / わな設置日： / /

わな管理者名： わな番号：

	チェック項目	状況	コメント
【なかなか捕獲できないときに確認する項目】			
1	周辺に新しい足跡がある	はい・いいえ	
2	わなに気づかれたような痕跡（迂回した足跡など）は見られない	はい・いいえ	
3	わなやワイヤー、けもの道近くの根付けなどは露出していない	はい・いいえ	
4	標識や看板、目印用のテープなどは、風で動かないように固定されている	はい・いいえ	
5	獲物が、そこしか踏めない場所にわなを設置できている	はい・いいえ	
6	わなは、正常に作動する（実際に、作動させて確認してください）	はい・いいえ	
【繰り返し誤作動するときに確認する項目】			
7	わなは、等高線に平行な平坦な道に、ぐらつかないように仕掛けられている	はい・いいえ	
8	わなの上の土は、前後のけもの道と同じ固さにかためられている	はい・いいえ	
9	わなの覆いは適切である（ワイヤーに葉や草が絡まないか動作確認してください）	はい・いいえ	
10	わなは、イノシシのエサ場や泥すりの木の下を避けて設置している	はい・いいえ	
11	誘引のための餌付けをしている	はい・いいえ	
12	わなの稼働重量は適切である（軽い負荷で作動しないよう工夫している）	はい・いいえ	
特記事項			

- 調査（マニュアルの現地検証）・協力
岡山県の猟師のみなさま
- 監修・写真提供
阿部 豪（株式会社 野生鳥獣対策連携センター）
- 引用・参照
「箱わなと囲いわなによるシカ捕獲の基本」
（兵庫県立大学自然・環境科学研究所／兵庫県森林動物研究センター）
「イノシシ捕獲技術プログラム Ver.1」
（香川県環境森林部みどり保全課）
「わな猟シカ捕獲マニュアル -これであなたも わな名人-」
（高知県産業振興推進部鳥獣対策課）

岡山県 イノシシ・シカ捕獲マニュアル

- 平成 28 年 3 月 初版
- 編集・発行／岡山県自然環境課
 - 制作／株式会社 野生鳥獣対策連携センター
兵庫県丹波市青垣町佐治 8-2
 - イラスト／米澤 里美

